

市坊

北<sup>方</sup> 駒込ノ富士<sup>へ</sup> 〔わうちへ〕 一里十町 一里六町 一里六町 卅町 〔同上〕  
 乾<sup>方</sup> 一像師が谷<sup>へ</sup> 〔日わつちへ〕 一里十町 一里十町 卅町 〔同上〕  
 坤<sup>方</sup> 一妻驪不動<sup>へ</sup> 〔日光道〕 一里十町 一里十町 卅町 〔同上〕  
 一妻驪不動<sup>へ</sup> 〔西<sup>方</sup>〕 一四谷追分<sup>へ</sup> 一里 〔是より淀げのなるこじゆく〕

〔望海每談〕一古來上方筋より關東への道筋當國へ入ては小机より神奈川へ通り六郷の川上を渡り世田谷より澀谷へ通り二本榎より赤坂の一ツ木溜池の東岸を北へ山里の西脇手を下谷浅草へ通り橋場の渡場を越し千住へ行又湯島本郷へ通りて上下の板橋へ被行江戸繁昌に付て御城中を初方々廣がり古來の道筋今は語り傳ふる人もなし御城より東の方は沼深田にて夫より先は海手にして其所迄は船共も入繫しかば道灌泊船の亭を設け詩歌の詠吟あり

〔武藏演路二〕江府町數凡一千六百五十有餘町 町鑑之内 内<sup>寺町</sup> 寺<sup>町</sup> 分<sup>前</sup> 分<sup>前</sup> 一千二百有餘町許 四百有餘町許

〔春波樓筆記〕江戸の町は御入國此方の事にて<sup>略</sup> 町數八百八町ありしに千八百八町となりぬ

〔日本地誌提要二〕東京市坊 壹千壹百七拾七町六大區ニ分チ七拾小區ヲ置

〔續江戸砂子二〕江府町名目

江戸町年寄<sup>一月番替</sup> 本町二丁目樽屋藤左衛門 同一丁目奈良屋市右衛門 同三丁目喜多村彦右衛門

名主十八組 〔名主支配の町々の前に合印を以て記す、但寺社御支配の名主は組の外なり〕

一番組 本町 石町 白銀町 室町 本船町 小船町 大傳馬町 堀江町 小網町 箱崎町

二番組 三河町 鎌倉町 龍閑町 塗師町等の構

三番組 小傳馬町 馬喰町 横山町 米澤町 田所町 堺町 大坂町 高砂町 富澤町

濱町 橘町 村松町 橋本町 神田紺屋町の構へ

三番組 浅草筋 久右衛門町 浅草茅町 旅籠町 猿屋町 元鳥越町 諏訪町 田原町